

# 多面的機能支払活動組織「新田地区農村環境保全組合」で 第2回新田地区ほたるまつりが開催されました！



令和元年6月29日(土)、栗原市志波姫<sup>やつくめぎ</sup>八樟地内で、多面的機能支払活動組織「新田地区農村環境保全組合」による「新田地区ほたるまつり」が開催されました。この行事は、新田地区のヘイケボタルの復活を祝うために昨年度から始まったもので、今年で2回目の開催となります。当日はあいにくの雨でしたが、構成員や地区の子どもたちのほか、栗原市立志波姫小学校の1～3年生や保護者も参加し、総勢約150人による大盛況となりました。代表の高橋さんは、「皆さんのおかげで、年々ホタルの姿が見られるようになってきた。これからもきれいな環境作りに努め、ますますホタルを増やしていきたい」と話しました。

## 講話：ホタルにまつわる楽しいお話

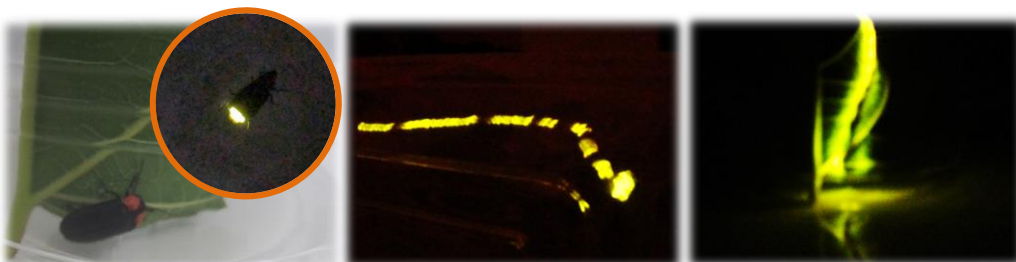
「NPO ホタルの会」理事の兵庫淑子先生を講師に招き、ホタルにまつわる講話をいただきました。兵庫先生は宮城県内を中心に長年ゲンジボタルの保護繁殖活動を行っており、ホタルの生態に造詣が深い方です。この日は、ホタルの種類やそれぞれの特徴、ホタルの一生や育て方などについて詳しく解説していただいたほか、先生の持参したゲンジボタルの幼虫と実際にふれあう時間が設けられており、参加者は楽しみながらホタルへの理解を深めることができた様子でした。

先生は「ホタルが生きるために重要なのは、太陽、水、空気、緑、土がそろっていること。また、餌となるカワニナやタニシも、ホタルと同様に増やす必要がある。地域一丸となって環境保全に努めれば、きっとホタルを守ることができる」と語っていました。



## ヘイケボタルの観察

当日はあいにくの天気で、ほたるまつり後半に予定していた屋外での鑑賞会やヘイケボタルの放虫はできませんでしたが、参加者各自で虫かごのホタルを観察し、ホタルのかわいらしい姿を間近で楽しみました。



<b>組織概要</b>
組織名：新田地区農村環境保全組合
取組事業：多面的機能支払交付金
取組開始：H19～
面積：142.1ha
構成員：農業者78名、非農業者75名、11団体